

# 港区南陽学区

## 震災避難行動マップ



凡 例	
	指定避難所
	津波避難ビル
	広域避難場所
	一時避難場所
	一時集合場所
	地域防災協力事業所
	地下式給水栓
	公衆トイレ
	AED
	アンダーパス
	調整池
	最初に水がたまる場所
	ふたのない排水溝
	水がふれてきそうな箇所
	または ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
	避難路

指定避難所			
地震や津波の危険がなくなった後で自宅での滞在が不可能な場合に行く施設			
施設名称	所在地	避難場所	収容人数
1 南陽小学校	東茶屋二丁目328	体育館、トワイライトスクール教室	349
2 南陽東中学校	西茶屋一丁目35-2	体育館、格技場	676
3 県立南陽高等学校	大西二丁目99	体育館	537
4 南陽センター	東茶屋二丁目330	談話室、食事室、会議室、和室	98
5 南陽第一保育園	東茶屋二丁目305	保育室、遊戯室	129
6 南陽交流プラザ	東茶屋三丁目123	大会場、小会議室、地域活動室、多目的室、会議室、ホール、エレベーター室、保健室、キッズルーム	652
7 藤前会館	藤前一丁目742	体育館、舞台、観覧席、多目的室	664
8 川原緊急避難所	西茶屋四丁目156	集会室、和室1、和室2、和室3	41
9 藤高緊急避難所	藤高一丁目81	集会室、和室1、和室2	45
10 七島緊急避難所	七島二丁目162	和室、会議室1、会議室2	53
11 小川緊急避難所	小川三丁目134	会議室、和室1、和室2	48

津波避難ビル			
地震がおさまったあと津波から避難する施設			
施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
1 南陽小学校	東茶屋二丁目328	4	1,167
2 南陽東中学校	西茶屋一丁目35-2	4	1,376
3 県立南陽高等学校	大西二丁目99	4	1,222
4 南陽交流プラザ	東茶屋三丁目123	2	500
5 藤前会館	藤前一丁目742	3	300
6 川原緊急避難所	西茶屋四丁目156	2	120
7 藤高緊急避難所	藤高一丁目81	2	120
8 七島緊急避難所	七島二丁目162	2	120
9 小川緊急避難所	小川三丁目134	2	120
10 南陽工場 工場棟	藤前二丁目101	6	1,200
11 西茶屋荘2・9・10棟	西茶屋一丁目35-6	7	3,504
12 西茶屋荘11棟	秋葉一丁目130-3	7	838
13 特別養護老人ホーム 幸楽荘	小川一丁目17	4	150
14 名港海運株式会社 藤前物流センター	藤前二丁目204	5	520
15 特別養護老人ホーム 第二幸楽荘	小川一丁目19	3	400
16 喫茶ベル	秋葉一丁目120	3	100
17 イオンモール名古屋茶屋	西茶屋二丁目11	4	31,000
18 第二畜場	東茶屋三丁目123	2	2,000
19 茶屋・橋避難施設	東茶屋一丁目151	2	130
20 東京インテリア 名古屋本店	川園一丁目111	3	8,155

地域防災協力事業所		
施設名称	所在地	覚書内容
株式会社小出組	港区東茶屋一丁目157番地	資器材(ジャッキ、バル、スコップ等)の提供、土のう袋等の提供(水害時)、その他必要に応じた協力
社会福祉法人大幸福社会特別養護老人ホーム幸楽荘	港区小川一丁目17番地	避難施設の一時的な提供、負傷者の一時的な救援、その他避難者への一時的な応援
株式会社ネクステージ 名古屋茶屋店	港区西茶屋三丁目64番地	一時避難場所の提供、牽引ロープ・ジャッキ等の救助用資器材の提供
株式会社ホンダカーズ愛知 名古屋茶屋店	港区西茶屋三丁目77番地	一時避難場所の提供、牽引ロープ・ジャッキ等の救助用資器材の提供
イオンリテール株式会社 イオン名古屋茶屋店	港区西茶屋二丁目11	緊急生活物資(飲料水等)の提供、その他可能な範囲における支援協力
名古屋ダイハツ株式会社 U-CAR 南陽茶屋店	港区川園二丁目73番地2	一時的な避難所(駐車場、ショールーム、会議室)の提供、牽引ロープ・ジャッキの貸出し、その他人道的見地から支援協力可能な資器材の貸出し



# 地震発生！ 災害時の対応

## 港区南陽学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。浸水が2.0mから3.0mに及び箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分**と予測されており、遡上はその後始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

## 津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。地震の揺れがおさまったあとは、**地域の皆さんで声掛け**をし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

**情報の入手や判断が難しい方**  
(例えばこんな方)  
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)  
優しい言葉でゆっくり声かけ  
メモや、身振り手振りで伝える

**移動が難しい方**  
(例えばこんな方)  
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)  
複数で手伝う  
身近にあるものを利用する

- <一戸建てにお住まいの方>**
- ① 町内の組単位で「声かけ」して無事を確認しあう
  - ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
  - ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
  - ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

- <集合住宅にお住まいの方>**
- ① お住いの階ごとに「声かけ」して無事を確認しあう
  - ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
  - ③ 一人で避難できない方を助けながら、住宅の3階以上へ津波避難する
  - ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

- 身の安全の確保
- ・倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
  - ・机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
  - ・安全に消せる場合は火を消す
  - ・可能であれば、扉を開けて出口を確保する
  - ・屋外にいる場合は、建物など倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

避難の際は、近隣で助けを求められないか、確認しながら避難しましょう！

- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保
- 隣近所への声掛け、安否の確認
- 玄関先に「無事です」の表示
- 家屋、近所の被害状況の確認
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集



隣近所や近隣住民の皆さんで「無事です」の表示がされていないお宅の安否を確認しましょう！

同じ階の住民の無事を確認できたら、上階・下階の住民の方が無事かどうかの確認、避難支援を！



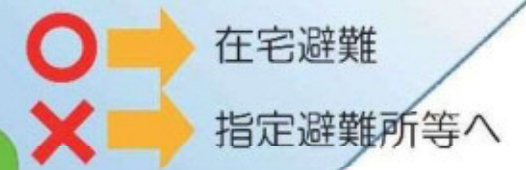
揺れがおさまった

津波避難ビルを目指して避難開始

- 隣近所へ声をかけながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- 持てる量の非常持出袋を持って避難
- 落下物など周囲の危険に気をつけて避難

### 災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



津波から安全に避難するための5つのポイント

- ①揺れが収まったら高台へ。時間がなければ津波避難ビルへ避難！
- ②隣近所へ声をかけ原則徒歩で避難！
- ③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！
- ④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！
- ⑤海岸や川沿いには絶対近づかない！

